

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念は毎朝の朝礼・月1回の全体会議において唱和し日々の実践に活かされるよう取り組んでいる。地域密着型を基本に、事業所独自の理念となるように全職員で話し合いをする。	ホームの理念の検討を、全職員で話し合いをする。	全体会議で、事業所独自の理念となるよう話し合いを行い決定した。	1ヶ月
2	13	火災・地震を想定した自主避難訓練を2回実施した。また非常時の備蓄の備えも行っているが訓練回数が少ないので多くの避難訓練実施すること。	防災訓練5, 6回行う。	利用者の安心・安全を図るために、近隣の協力を得る取り組みや消火訓練・通報訓練・消防用設備等の操作訓練など、より多くの非難訓練を実施する事。6月に訓練予定。	3ヶ月
3	18	高齢化のため利用者が外出する機会は減っている。法人の方針で利用者の乗車が禁止されているためにドライブに出かけられない状況にある。	日常的に外出支援の機会を多く作る。	高齢化や車椅子使用している方は外出する機会が少ないので、日常的に外出支援の機会を多く作る。遠くでなくても近くを散歩するだけでも良い。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。